

参加費
無 料

「生きづらさ」について 一緒に考えよう!

～自殺と貧困から見えてくる日本～

今の世の中を、あなたはごどう思いますか?閉塞感が、日本社会を覆っています。
働きたくても仕事がない、生きる意味が分からない、とにかく生きづらいなどの理由で、いのちを絶つ若者が絶えません。20代・30代の死因の一位は、なんと自殺です。
そこで、精神科医の香山リカさん、貧困問題に取り組む湯浅誠さん、自殺問題に取り組む清水康之さん、上智大学グリーンケア研究所長の高木慶子さん をゲストに迎え、この閉塞感を打破し、希望のもてる社会へと変えていくために私たちに今、何が必要なのか?皆さんと共に考えてみたいと思います。どなたでも無料で、予約なしで参加できます。
さあ、12月14日の夜は上智大学10号館へ!あなたの参加をお待ちしております!

シンポジスト

香山リカ(精神科医・立教大学現代心理学部映像身体学科教授)
清水康之(NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表)
高木慶子(上智大学グリーンケア研究所長)
湯浅誠(反貧困ネットワーク事務局長)

コーディネーター

中下大樹(いのちのフォーラム・絆ネットワーク代表)

日 時 : 12月14日(火)
19:00~21:00
場 所 : 上智大学10号館講堂
(定員800人)
入場料 : 無料

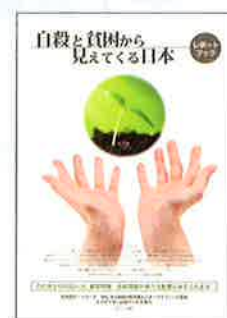
申し込みは必要ありません。
会場へ直接お越しください。

※3月10日に当時の鳩山総理をお呼びして開催したシンポジウム
「自殺と貧困から見えてくる日本」が本になりました。当会場でも販売します。

「自殺と貧困から見えてくる日本 レポートブック」

監修:反貧困ネットワーク/NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク
B5判/124ページ/並製カバー付き/1,200円(税込)

貧困問題、自殺問題は、現在日本が直面する大きな課題です。その解決のために、鳩山由紀夫総理(当時)、長妻昭厚生労働大臣、福島瑞穂内閣府自殺対策特命担当大臣(当時)、記念イベントに参加されるパネラーの皆さま、自殺問題の当事者の皆様方とその支援者の皆様方が、シンポジウムの当日、登壇され発言されました。その他、当日会場にお集まりになった全ての皆様方の思いとメッセージを、1冊の本にまとめました。



◆「自殺と貧困から見えてくる日本 レポートブック」の収益の50パーセントは、「反貧困ネットワーク」
「NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク」が展開する貧困問題対策、自殺問題対策の活動費に充てられます。

※シンポジウム終了後、「自殺と貧困から見えてくる日本」にパネラーとして参加された香山さん、清水さん、湯浅さん、
コーディネートの中下さんのサイン会を行います。サイン会には、当日17:00から配布される整理券が必要です。

主催 いのちのフォーラム・絆ネットワーク・上智大学グリーンケア研究所・上智大学文学部哲学科・ベグライテン・ミシュカの森